

■開催にあたって

この 7 月に開催されたあみ結成 20 周年記念全国大会のテーマ「軌跡と未来」をうけ、これまでの精神保健福祉の軌跡を振り返り、これから私たち支援者に何ができるのか、何をすべきかを一緒に考える研修会を開催します。

今回は読売新聞大阪本社の記者で精神保健福祉士でもある「原 昌平氏」に精神保健福祉の軌跡と弱い立場にある人々との向き合い方をお話ししていただく予定です。～ビョーキでも、ええやんか～という原氏の言葉は、心がほっこりします。

また、オプションルツアーでは、最近までハンセン病で隔離されていた軌跡、栗生楽生園の重監房資料館を訪ねます。…これからの精神保健福祉が同じ轍を踏みませんようにと祈りながら…

■研修会テーマ

「時代をとらえ、未来につなぐ ～ 私たちにできること・すべきこと ～」

■詳細

会 場 ビエント高崎 本館 602 号室（詳細・アクセスマップは最終頁）

参加費 会員・賛助会員 500 円、一般 1,000 円、学生・当事者 500 円

日 時 2017 年 11 月 18 日（土） 受付 09:30 開始 10:00 終了 16:30（予定）

定 員 最大 80 名

■活動交流会・オプションルツアー詳細

参加費 活動交流会 宿泊込み/10,000 円 宿泊無し 5,000 円 ツアー 1,000 円

11 月 18 日 会場（宿泊先） 相馬川温泉 ふれあい館

11 月 19 日 ツアー見学先 重監房資料館（栗生楽生園）10:00～12:00 草津温泉街 12:00～15:00

【詳細スケジュール】

※宿泊・オプションルツアーは 30 名先着となります。

※活動交流会に宿泊無しでのご参加については、上記 30 名の限りではありませんので是非ご参加ください。

※オプションルツアーのみご参加、自家用車にて会場（重監房資料館）へお越しになる場合にはその旨お知らせください。

11 月 18 日（土）	17:00～	ビエント高崎 駐車場 出発
	18:00	相馬川温泉 ふれあい館 到着
	18:30～21:30	活動交流会 （宿泊しない人はここで解散）
11 月 19 日（日）	7:30～	朝食
	8:15	相馬川温泉 ふれあい館 チェックアウト
	8:30～	オプションルツアー 集合・出発
	10:00～	重監房資料館（栗生楽生園）見学
	12:00～	自由行動 （草津温泉街）
	15:00	草津温泉 出発
	17:00	高崎駅 解散

■主催

特定非営利活動法人 全国精神障害者地域生活支援協議会（あみ）

法人事務局 〒185-0022 東京都国分寺市東元町 4-1-14 リヒテンハイム 102（担当：宮坂）

電話：042-313-9403 FAX:042-313-9407 メール：info@ami.or.jp

研修会事務局 〒370-0011 群馬県高崎市京目町 201-2 社会福祉法人プライム内（担当：三浦・本間）

電話：027-381-6171 FAX:027-381-6172

■当日プログラム

9:30～	(開場)受付開始		(総合司会) 社会福祉法人 プライム	大 塚 光 彦
10:00～10:10	開会の挨拶		医療法人 唯愛会	半 田 卓 穂
10:10～10:30	あみ活動報告		あみ理事(社会福祉法人 プライム)	山本 美紀子
10:30～11:30	活動報告		一般社団法人 ロカール 代表理事	小淵 恵造 氏
11:45～	ランチョン・ミーティング 弁当(主食(白米・赤飯・山菜おこわ等)バイキング)			
13:00～14:30	講 演 障害者と権利擁護		読売新聞 大阪本社 編集委員	原 昌平 氏
14:45～16:15	パネ ル ディスカ ッション	パネリスト コーディネーター	読売新聞 大阪本社 編集委員 一般社団法人 ロカール 代表理事 社会福祉法人 ブローニユの森 管理部長補佐 特定医療法人 群馬会 くわのみハウス施設長 NPO法人 このは	原 昌平 氏 小淵 恵造 氏 小池 秀明 氏 横澤 岳志 氏 近藤 淳 氏
16:20～16:30	閉会の挨拶		社会福祉法人 アルカディア	中 田 駿

■講師紹介

原 昌平 氏 13:00～14:30 講演：障害者と権利擁護

読売新聞大阪本社編集委員。

1982 年、京都大学理学部卒、読売新聞大阪本社に入社。京都支局、社会部、科学部デスクを経て 2010 年から編集委員。1996 年以降、医療と社会保障を中心に取材。精神保健福祉士。社会福祉学修士。大阪府立大学大学院客員研究員。大阪に生まれ、ずっと関西に住んでいる。好きなものは山歩き、温泉、料理、SF など。編集した本に「大事典 これでわかる！医療のしくみ」（中公新書ラクレ）など。

オプションルツアー 重監房資料館について

重監房とは群馬県草津町にある国立療養所栗生楽泉園の敷地内にかつて置かれていた、ハンセン病患者を対象とした懲罰用の建物で、正式名称を「特別病室」と言いました。病室とは名ばかりで実際は患者への治療は行われず、「患者を重罰に処すための監房」として使用されていました。

重監房資料館は重監房（特別病室）を負の遺産として後世に伝え、ハンセン病をめぐる差別と偏見の解消を目指す普及啓発の拠点として人権尊重の精神を育むため設置されています。

NPO法人全国精神障害者地域生活支援協議会

